

町田市バイオエネルギーセンター運営協議会（第8回）

議事要録

- 日時 2025年2月6日（木）10時00分～12時00分
- 場所 町田市バイオエネルギーセンター 管理棟3階会議室
- 出席 委員：高橋会長（もみじ台）、小林副会長（忠生中央）、佐藤委員（桜美林台）、
藤田委員（下小山田）、鈴木委員（忠生四丁目）、
川畑委員（忠生忠霊地区）、守屋委員（根岸）、甲野藤委員（清住平）、
酒井委員（矢部町）、佐藤委員（常盤）、林委員（馬駆）

専門委員：佐々木委員

- 欠席 6名（代理出席 なし）
- 事務局 : 塩澤環境資源部長、徳重循環型施設担当部長
循環型施設管理課 : 平川課長、新美係長、狩野担当係長、湯田係長、
黒須担当係長、石川主任、阿曾主事
循環型施設整備課 : 古屋課長
ごみ収集課 : 田中課長
環境政策課 : 池澤課長
運営事業者 : 町田ハイトラスト株式会社
コンサルタント : 株式会社日建設計

- 傍聴者 0名

- 配布資料

次第

- 町田市バイオエネルギーセンターの運転状況について……………【資料1】
- バイオガス化施設前処理施設火災復旧スケジュール……………【資料2】
- 石川県災害被災地からの災害廃棄物の受入れについて……………【資料3】
- リチウムイオン電池検知システムの実証実験……………【資料4】
- 町田市バイオエネルギーセンター消防訓練実施結果の報告……………【資料5】
- 資源ごみの暫定処理方法について……………【資料6】

1 開 会

○開会挨拶

塩澤環境資源部長より、開会のあいさつを行った。

2 議 題

(1) 町田市バイオエネルギーセンターの運転状況について（2024 年 7 月～12 月）

事務局より、資料 1 を用い、町田市バイオエネルギーセンター運営協議会の所掌事項である排ガスの測定結果など、運転状況について報告した。

（以下、主な質疑応答）

- | | |
|-----------------|---|
| 守屋委員 | 騒音レベルが基準値を超過している状態への騒音対策は可能でしょうか。 |
| 事務局
（黒須担当係長） | 東側 B 地点、南側 C 地点はさくら通りの交通騒音の影響を受けやすく、バイオエネルギーセンターの施設騒音に限定して測定することは難しい。そのため、施設側で基準以下にする対策は難しいと考えられます。 |
| 甲野藤委員 | 騒音基準を超過している頻度・期間はどの程度ですか。また、苦情はありますか。 |
| 事務局
（黒須担当係長） | 具体的な時間は確認できませんが、朝・昼の交通量が多い時間帯であると考えられます。苦情はありません。 |
| 甲野藤委員 | 臭気について、基準値の 10 未満ということですが、基準値に対してどの程度の余裕がありますか。 |
| 事務局
（黒須担当係長） | 臭気指数 10 未満というのは 5 人の臭気判定士が臭いを感じないレベルです。 |
| 高橋会長 | 以前、近隣で苦情がありましたが、その後、どうでしょうか。 |
| 藤井委員 | 臭気の問題がありましたが、その後はないようです。 |
| 高橋会長 | 以前、東京都内の清掃工場で排ガスの水銀の基準値超過が問題になっていましたが、最近の他施設の情報があれば教えてください。 |
| 事務局
（黒須担当係長） | 最近是他施設で問題になっているという情報はありません。 |
| 川畑委員 | 12 月の粗大ごみの搬入量は増加していないのに搬入車両台数が大幅に増加している理由を分析していれば教えてください。 |

- 事務局
(田中(道)課長) 年末の大掃除で容積の大きい粗大ごみが排出され、1回の積載ではすべて収集できないことがあり、応援の車両により台数が増加しているものと考えられます。
- 事務局
(黒須担当係長) 現在、粗大ごみの直接搬入は事前受付制になっていますが、12月は自家用車での市民搬入により搬入車両台数が増えていると考えられます。次回の運営協議会で資料を用意して説明いたします。
- 川畑委員 搬入ごみ量はあまり変動していませんが、計画どおり想定内で運転できているのでしょうか。
- 町田ハイトラスト
(島尻所長) 2023年度の搬入実績 69,000t/年にもとづき、2024年度の計画量を約68,600t/年と設定していますが、予想の範囲内で運転できています。
- 高橋会長 バイオガス化施設が停止している間、燃やせるごみはすべて熱回収施設で焼却処理しているという理解で良いですか。
- 事務局
(平川課長) 熱回収施設で焼却処理しきれない分は応援ごみとして、多摩ニュータウン環境組合の多摩清掃工場で処理していただくなどの対応で、処理を進めています。
- 高橋会長 火災事故の応援として多摩ニュータウン環境組合などに処理をお願いしたごみ量を教えてください。
- 事務局
(平川課長) 多摩ニュータウン環境組合の多摩清掃工場、八王子市の館クリーン、戸吹クリーンセンターにごみ処理の応援をいただきました。その量は6,000t程度で、このうち、バイオガス化施設の火災に関連したのは4,600tです。
- 川畑委員 処理費用はどの程度の金額ですか。
- 事務局
(平川課長) 2,400万円程度になります。なお、2025年4～6月も応援で受入れをお願いしていますので、最終的なごみ量・費用は次回の運営協議会で報告いたします。

(2) バイオガス化施設前処理施設火災復旧スケジュール

事務局より、資料2を用い、バイオガス化施設で発生した火災の復旧スケジュールについて説明した。

(以下、主な質疑応答)

- 高橋会長 空港の手荷物検査システムのような異物除去装置については、その後どのように検討されているのでしょうか。

事務局 (平川課長)	今回の復旧工事では、現状復旧に合わせて、火災対策として散水ノズルやCO計の追加設置を進めています。 リチウムイオン電池検知システムについては、実証実験を行い、技術的な課題をメーカー、運営事業者と検討していますので、後ほど、報告事項で説明させていただきます。
甲野藤委員	スケジュールを見ると、四半期毎に順番に進められていますが、機器製作と据付工事を同時に行ったり、解体工事に早期に着手したりなど、全体的に短縮できるように思われます。
事務局 (平川課長)	今回の火災では被害範囲が広がったため、全部同時に進めることができず効率的に補修・復旧を進めながら、順番に場所を決めて設計・製作・据付工事を行っています。
守屋委員	予定どおりのスケジュールで進めているとのことですが、新しいリチウムイオン電池検知システムを含めて、どの程度の費用がかかるのか教えてください。
事務局 (平川課長)	復旧費用については、工事を終了していない部分もあり、メーカーとも調整していますので、まだ説明できない状況です。
小林副会長	リチウムイオン電池の分別が非常に重要であると考えられますが、最近、市民への啓発をどのように行っているか説明してください。
事務局 (田中(道)課長)	市の広報誌やホームページ、ごみ分別アプリ(11か国語対応)など電子媒体や紙媒体を使用して分別を呼びかけています。 また、今月から外国人の方を対象にした説明会を国際交流センターで8回程度開催する予定です。 さらに、住民票の異動手続きをされずに市内にお住まいの方もおられるので宅建業協会にごみ分別の方法についてのチラシをお送りするなど、多くの方にごみの分別方法を知っていただく機会づくりに取組んでいます。
高橋会長	小型家電の収集が始まりましたが状況について教えてください。小型家電の回収ボックスは減少したのでしょうか。
事務局 (田中(道)課長)	2024年8月から月1回の収集を開始し、最初の1か月は120kg程度でしたが、最近は約3倍の380kg程度となっています。また、小型家電の回収ボックスはこれまでと同じ程度の数を設置しています。
川畑委員	バイオガス化施設の処理工程で火災の被害範囲を説明されましたが、復旧工事でどのような火災対策を講じたのか、火災時に消火散水した水の対応など、分かりやすく説明してください。
事務局 (平川課長)	破碎選別装置の後のコンベヤに消火散水ノズルを10か所、CO検知装置を3か所設置し、ベルトコンベヤを延焼しにくい金属製コンベヤに変更する

などの対策を講じています。

また、散水した水を排水する仕組みも設けていますので、次回の運営協議会で分かりやすくお示しするようにいたします。

高橋会長 以前、火災が発生した不燃・粗大ごみ処理施設でも同様の対策を講じているのですか。

事務局
(平川課長) 2022年6月に発生した不燃・粗大ごみ処理施設には、元々、散水ノズルを7か所設置していたのですが、29か所に増設して消化能力の強化を図っています。なお、構造上、金属製のコンベヤには変更できませんが、対策後も発煙・発火は確認されていますが、施設が損傷を受けるような火災は発生していないので、対策の効果であると考えています。

3 町田市からのお知らせ・事務局からの連絡事項

(1) 町田市からのお知らせ・石川県災害被災地からの災害廃棄物の受入れについて

事務局より、資料3を用い、石川県災害被災地からの災害廃棄物の受入れについて説明した。

(以下、主な質疑応答)

酒井委員 可燃ごみを10t/日を10日程度受け入れるとのことですが、不燃ごみなどの選別は現地で行い、可燃ごみのみを受け入れて処理するため、こちらでは選別処理は行わないという考え方でしょうか。

事務局
(狩野担当係長) 不燃ごみは選別除去した可燃ごみのみを受け入れることになります。

佐藤（早）委員 リチウムイオン電池の混入が心配されますが、八王子市など既に受入れを行っている自治体の状況を教えてください。

事務局
(狩野担当係長) 八王子市では約40t、ふじみ衛生組合では40t以上を受け入れています、リチウムイオン電池などの問題の報告はありません。

(2) リチウムイオン電池検知システムの実証実験

事務局より、資料4を用い、リチウムイオン電池検知システムの実証実験結果について報告した。

(以下、主な質疑応答)

藤田委員 火災発生の可能性を少しでも減らすため、検知正解率100%をめざすということですか。

- 事務局
(平川課長)
- リチウムイオン電池を使用した製品は非常に多いので、検知正解率を100%にすることは難しいのですが、AI が学習・向上することで、技術的には100%を目指す検討を重ねている状況です。
- 高橋会長
- リチウムイオン電池を判別するのは難しいと思いますので、リチウムイオン電池が入っているような金属性の固形物を検知するということであれば精度が向上するのではないかと考えられます。
- 事務局
(平川課長)
- リチウムイオン電池であるか、ニッケル水素電池であるか、など形状だけで判別していないということです。また、電気シェーバーなどの充電電池を使用した小型家電の形状を認識しているのではなく、内蔵している電池を検知しているとのこと。メーカーのノウハウになるので詳細は不明ですが、リチウムイオン電池、もしくはそれに類するものを除去することで安全性を高めていきたいと考えてます。
- 酒井委員
- どのようなものを~~ご~~誤認識するのでしょうか。
- 事務局
(平川課長)
- 袋の中でごみが重なっていると~~ご~~誤認識しやすく、金属ボルトや鉄板などが入っていると電池と認識してしまう事例があると報告されています。
- 高橋会長
- バイオガス化施設に限ると、不燃物を除去すれば良いので比較的判別しやすいと思います。
- 事務局
(徳重部長)
- 海外製の家電製品が増えており、環境省の会議でも、リチウムイオン電池のメーカーでも約 6 割が中国企業であると報告されており、すべてを AI で認識するのは難しい状況になっています。
そのため、非常に種類・数量が多い家電製品を認識するよりは、まだリチウムイオン電池を認識することを目標にする方が対応しやすいと考えています。
- 川畑委員
- この問題は町田市だけでなく、日本全体で発生していますが、国や東京都の取り組みについて教えてください。
- 事務局
(徳重部長)
- 環境省では、町田市など先進的な選別除去技術の事例を全国に広めるという取り組みを進めており、メーカーや自治体も増えているとのこと。
また、YouTube、TVer などの無料動画配信サービスでリチウムイオン電池の危険性を周知する動画を製作したり、J リーグの試合開催場所にブースを設置してアンケートの回答者にチームのグッズをプレゼントしたりする企画を行っています。
環境省の会議では無料動画配信サービスでは視聴者が限定されるので、より広く発信してほしいと要望しましたが、2025 年度はできれば政府広報としてテレビでも放送したいと説明されていました。
また、環境省と経済産業省が連携して、電池の製造者責任を求める法律の改正にも取り組んでいくことも説明されていました。

(3) 町田市バイオエネルギーセンター消防訓練実施結果の報告

事務局より、資料5を用い、消防訓練（12月5日）の実施結果について報告した。

(4) 充電式小型家電の分別排出方法について（報告）

事務局より、充電式小型家電の回収において集積場所の看板シールの見直し、貼り替えについて説明した。

(5) 資源ごみの暫定処理方法について

事務局より、資料6を用い、資源ごみの暫定処理方法について報告した。

(6) 生涯学習総務課からのお知らせ

事務局より、町田市考古資料室の活動について紹介した。

（以下、主な質疑応答）

高橋会長 近くにある施設であるので、バイオエネルギーセンター内に考古資料室を紹介するブースを設置して宣伝すれば良いと思います。

事務局 連携して検討させていただければと思います。ありがとうございました。
（西久保課長）

守屋委員 利用人数はどの程度でしょうか。

事務局 多い日で1日10名程度、少ない日は2～3名という状況です。
（後藤学芸員）

川畑委員 あらかじめ見学申し込みをすれば対応していただけるのでしょうか。

事務局 生涯学習総務課までご連絡いただければ、学芸員が専門的な解説をさせて
（西久保課長） いただくことも可能です。どうぞよろしくお願いいたします。

4 閉 会

徳重担当部長より、退任および閉会のあいさつを行った。